



会報 2016 年 10 月号

日本ニュージーランド協会（関西）

創立 1970 年

New Zealand Society of Japan, Kansai

幾つかの台風の後、本格的な秋がやってきましたが、ニュージーランドでは9月26日からサマータイムが始まり日本との時差が4時間になりました。各地の桜も間もなくピークが終わるそうです。南島の北端、ネルソンでも毎年「桜祭り」が開かれています。先日、来日されたネルソンの皆さんも多彩なイベントを楽しまれたそうです。これから夏に向かうニュージーランドに旅行を計画されている会員もおられますが、お土産話を伺えることを楽しみにしています。

さて、年内の行事は下記の2例会です。お繰り合わせのうえ、ご参加いただきますようご案内いたします。

第262回例会（柿狩り・五條）

日時：11月12日（土）10時30分～16時00分

場所：会員の太津さんの柿農園

今回より集合場所が変更になっています

・集合場所：近鉄福神駅前10時30分

大阪阿部野橋・・・榎原神宮前・・・福神

第263回例会（クリスマス例会）

日時：11月23日（水・祝）10時50分～14時30分

場所：神戸外国倶楽部



（10月10日ネルソン祝祭合唱団）

事務局：大阪市西区江戸堀1-23-26 西八千代ビル3階C

N.S.コンサルタント内 電話・FAX：（06）6607-2112

HP：http://nzsocietykansai.com

E-mail：nzsjk@yahoo.co.jp（メールアドレス修正しました。）

第262回例会のご案内(柿狩り・五條)

今回で6回目となる柿の名所訪問は、太津さんのご厚意と松元さんのお世話により開催します。

今年は、西吉野柿選果場も見学します。

秋の大和路を楽しみましょう。

- ・ 11月12日(土) 10時30分～16時頃
- ・ 集合：近鉄福神駅前 10時30分
- ・ 費用：2500円(弁当代含む・子供同額)
- ・ 定員：25名 締切り：11月4日
- ・ 申込み：日本ニュージーランド協会(関西)事務局

メール：nzsjk@yahoo.co.jp

電話・FAX：06-6607-2112

*交通手段(電車・クルマ)もお知らせください。

大阪阿部野橋発 急行 9:20・福神着 10:24

特急 9:40・福神着 10:35

(特急券 510円 乗車券 810円)

*雨天などで実施できない場合は、中止。

催行確認は、当日7時15分以降にお問い合わせください。

太津さん 090-3167-9607

石井さん 070-5260-8785

*柿について

中国が原産、奈良時代には日本へ。最初は渋柿だけでしたが、鎌倉時代に甘柿が登場。黒船のペリーが米国へ持ち帰り、その後欧州に渡った説がある。1000種以上の種類がある。数軒のNZ農家が日本から種を輸入し栽培が始まり、春には日本市場で見かけることもある。

効能:美肌効果、風邪ひき・高血圧予防など。

欧州では熟した柿をスプーンですくって食べる人もいる。詳しくは太津さんから伺いましょう。

第263回例会のご案内(クリスマス例会)

今年は会場の都合等で少し早いですが、例会を恒例の神戸外国倶楽部で開催します。

今年は、NZと縁の深いスコットランド音楽等の演奏もごさいます。

美味しい食事、音楽、自己紹介、ビンゴゲーム、クイズ、バザー、プレゼント交換等盛り沢山。ご家族・ご友人をお誘いいただきご参加ください。

- ・ 11月23日(水・祝)

10時50分 受付・バザー開始

11時30分 例会スタート

14時30分 閉会

- ・ 神戸外国倶楽部 中央区北野町4-15-1

トアロードの突き当り西側

三ノ宮からクルマで10分

NHK神戸から北へ徒歩10分

TEL: 078-241-2588

- ・ ミニ・演奏会: **Ramsay Pipe Band**から
3名～5名

関西・海外の音楽行事にも出演の皆さん

スコットランド・イングランド・日本等の音楽

ミニ・トークの時間も設けます。

- ・ 合唱: ポカレカレアナ

蛍の光

- ・ 会費: 会員と同伴者 6000円

キーウィ 3000円

小学生未満 2500円

飲み物: 各自負担

- ・ プレゼント交換: 1000円程度のものをご持参ください。

- ・ バザー: 出品にご協力ください。

- ・ 締切り: 11月16日(水)

以降キャンセル料全額ご負担ください。

- ・ 定員: 60名 お断りの場合のみご連絡します。

- ・ 申込み: 電話・FAX 06-6607-2112

メール: nzsjk@yahoo.co.jp

■オークランドから近況報告

ここ、南半球のオークランドは雨の多い退屈な冬を乗り越え、春の準備に入りました。

冬の間は、本当に日本に帰りたくなる(?)くらいやることがなく退屈ですが、夏のオークランドは本当に最高でカラッとした晴れの日が続き、日も長く、外でご飯を食べているだけでも幸せを感じる季節なので、この夏がくるのをじっと耐えて、ようやく春が来たという感じです。さて、私自身はこの1年で大きな変化がありました。

先ほどオークランドの冬は暇と申し上げましたが、今年の佐藤家の冬は忙しかったです。

実は、今年4月4日に長女の環(たまき)が生まれました。生後5か月になりだいぶ人間らしくなってきました。

永田さんが来られた5月末は子供がいたので何にもできませんでした。永田さんすみません！ちなみに、Tamaki という名前は NZ 先住民のマオリ語で Auckland の一部の地域のことを呼びます。

したがって Tamaki は Aucklander には割と覚えてもらいやすい名前になっています。今のところすくすくと育ってくれています。

NZ に来た理由の一つがここで子育てをしたいということでしたので私も妻の真弓も環が生まれてきてくれたことに感謝しています。難産だったのでまずは真弓に感謝ですね。

それから、昨年、無事に NZ 永住権を取得することができました。

2012 年に脱サラして、NZ へ渡航し、新婚生活が Kiwi 家族とホームステイというユニークなスタートでしたが、職場や周りの環境に恵まれたこともあり、まず目標の一つであった永住権取得ができてホッとしました。

外的要因でいえば、現在の政権与党は積極的な移民政策を推進していることもあり、この点はラッキーであったと思います。

NZ の永住権はポイント制となっており、年齢、学歴、職歴と NZ での就業先が決まっているか、特別なスキルがあるか、などがポイント加算され、その後一定条件を満たせばパスできる仕組みになっています。スキルを持った方は 1,2 年で取得が可能です。

私の場合は日本での 6 年半の職歴がポイントとしてみなされたので、日本の会社にも感謝です。

ちなみに、環は私たちが永住権を取得してから生まれたので、彼女はしばらく二重国籍となります。次に日本へ帰る機会があるときは NZ パスポートで帰ろうかと考えています

3 つ目はこちらで転職を経験しました。日本人が経営している小さな弁護士事務所で法務サポートと経理その他・もろもろをやっています。規模は小さいのですが、いかんせん日本人弁護士がほとんどいないため、ありとあらゆる案件をほぼ一人で担っているような事務所です。通常弁護士事務所といえば、医者と同様にそれぞれの専門分野がありますが、私のいる事務所はまさに何でも屋であり、刑事訴訟、移民、離婚、住宅購入、ビジネス売買、身柄引き取り、遺書作成などいろんな案件を請け負っています。それもそのはず、ここの顧問弁護士である西村先生は NZ で日本人として初めて弁護士資格を取られた方なのです。

英語がうまく話せない方で困った方は大概我々の事務所へコンタクトくださっています。

当然すべてを対応できる弁護士などこの世界中に存在しませんので、難しい案件はほかの事務所の方と一緒に仕事をすることもあります。

西村先生が私のことを気に入ってくれておりまして、誘われたのがきっかけとなり今の事務所に入りました。

その先生と出会ったのは、NZ に来たばかりの 2012 年でした。真弓が何かスポーツをやりたいと言ったので、近くの合気道の道場へ通ったのがきっかけでした。その師範が西村先生でした。弁護士をされているということを知ったのはずいぶんと後の話で、単純に合気道を趣味で教えてくれる陽気なおじさんだと思っていました。

ちなみに西村先生はNZへ来られる前は大阪市内の中学校で理科の教員をされていたそうです。そんなこんなで、オークランドにやってきて丸4年が経ちましたが佐藤家はなんとか元気にやっております。

みなさん、日本では9月に入っても暑い日が続くかと思いますが、どうぞお体をお大事にしてください。

NZへ移住を考えている方がいらっしゃいましたらご相談ください。

また、お会いできる日を楽しみにしています。何か個人的に連絡をご希望される方は simsimpeipei@gmail.com へメールください。

(佐藤慎平・8月)



(佐藤さん一家)

■臨時例会「イアン・フォーロン先生と語ろう」

と き：7月24日(土) 午後4時から6時

ところ：ミッション・ベイ

(茨木 井上知治会員の店)

フォーロンさんは、福島県とニュージーランドの地域間交流プロジェクトの一環(NZ教員受入事業)で、クライストチャーチのもう一人の先生と来日され、7月11日から福島県の各地を訪問されました。その後、福井・彦根を周り大阪に来られました。福島の人々の前向きの姿勢・暖かさに触れることができたそうです。大変よく準備された内容で、放射能除染情報プラザの見学・桃狩り体験・学校訪問・NZ紹介ミニ授業のデモ・ソー

ラ発電公園見学・甲冑着付け体験等をされました。帰国したら今回見聞したことを生徒や地域の人々に伝えるそうです。近い将来には福島の高校とも交流を始めるようです。ご堪能な日本語と英語で話され、参加した会員と楽しい時間を過ごされました。

(参加者：呉橋真人 永田美夜子 外山純 藤村琇子

喜田靖夫 林園子・弘子 三浦治郎 田原奈佳

井上佳久 石井久行)



(ミッション・ベイの前で)

■第260回 NZ事情紹介DVD鑑賞と縁日祭り

と き：8月26日(金) 午後4時から7時

ところ：中央電気倶楽部会議室・大ホール等

初めにニュージーランドの最近事情とTPPに関して日本との経済関係の現状と将来に関するDVDを鑑賞、日本の敵となるか味方となるかの両面につき考えさせられる問題定義型の内容。ラグビーの日本代表リーチ・マイケルさんのクライストチャーチの家も取材され、ヘミングウェイ似の親父さんとフィジー出身のお母さんも登場した。酪農専攻の北海道の若者が、合理化の進んだNZの実情に驚いている姿も紹介されていた。その後、参加者からのコメントなども含め懇談。最後に電気倶楽部主催の縁日祭りに合流。舞台上の軽曲芸、飲み放題・食べ放題の屋台、射的、パターゴルフ等レトロな雰囲気を楽しんだ。この例会を契機に伊藤美登利さんが入会された。

(参加者：山田輝子 堀幸子 林園子・弘子 林進

中村重夫 浜中謙治 松沼清司 石井久行)

伊藤美登利 福田美千穂 熹福加代)



(縁日風景)

■第261回例会(ネルソン祝祭合唱団)

天満教会で10月10日に開催されたネルソン祝祭合唱団公演を当協会が後援し、例会として合流しました。指揮者カール・ブラウニングさんは英国とニュージーランドの両国で音楽教育者として有名です。そのため、英国からの参加者もおられました。60歳代が中心の30人の混声合唱団は、キリスト教関係の曲のほかマドリガル、英国・米国の民謡、日本の「さくら」、ビートルズナンバーなどをブライアン・ヒールドさんのピアノ伴奏で歌われました。参加者は、礼拝堂内に響く彼らの素朴な歌声に熱心に耳を傾けていました。約1時間の公演の後、1階ホールで懇親会も開催され草の根の国際交流として有意義な行事になりました。最後には、私達は「ふるさと」を合唱し、ネルソンの皆さんに感謝の気持ちを表しました。

天満教会は、日本キリスト教団に所属し、135年以上の歴史があり、「天満の天神さん」から徒歩数分のところにあります。偶然にも山下明会員が所属するコードリベット・コールが練習会場として時々利用するそうです。中2階の席は、祭壇から音が上がってくるので特別席だそうです。

今回は、宮津市とネルソン市の姉妹都市提携40周年記念で来日されました。両市の出会いは、1974年に宮津出身の前尾衆議院議長(当

時)を団長とした国会議員親善団がNZを訪問、当時のH. ヘッド国会議長が出身地のネルソンに招待したのが始まりでした。ネルソンは、南島の西北、タスマン湾に面した人口6万人の町です。果樹栽培とワイン醸造が盛んで、芸術家にも人気があり、日照時間も多く、引退後の保養地として人気が高いそうです。本公演を契機に新たにネルソンとの交流が始まれば、協会の活動の幅が広がるでしょう。大阪の後は、皆さんは宮津へ行き10月15日に記念コンサートをされました。(石井久行)

(参加者：約120名、協会からは名古屋在住の磯部会員など約25名)



(合唱風景)

NZニュース・クリッピング

(8月～9月)

・政策金利最低に

NZ準備銀行のG. Wheeler 総裁は、政策金利を0.2%引き下げ2%にすると発表した。

・ホークスベイで感染者続出

Haveloc Northの水にカンピロバクター属菌が含まれていたことで少なくとも2千人が感染、千人が病気にかかっている。学校・会社はしまっている。

・失業率低下

政府統計局は、6月までの4半期における失業率が、前期より若干低い5.1%と発表。しかし、多くが長時間勤務を希望しているこ

とが判明した。

- ・リオ・オリンピック大成功、メダル18個
オリンピックチームは目標の14個を上回る成果を上げた。内訳は、金4つ、銀9つ、銅5つ。若手の活躍が目立った。
- ・インド人留学生の現状
外国人留学生を狙った詐欺や恐喝が増えて問題となっている。特にインド人が標的になっており、南オークランドで多く被害が出ている。彼らは十分な生活資金を待たずに来る。そのため、麻薬に手を染める、最低賃金未満で働く等の問題もある。
- ・果樹園労働と人材不正派遣
フィリピン・インド人をターゲットにNZ生活の豊かさを伝え、就職先の保証をすると移住を勧める。実際は、法律違反下で働かせる方法。もちろん正規の派遣業者ではない。フィリピンとは労働者派遣の2ヶ国協定が結ばれたが、問題も多い。
- ・孤独な若者たち
社会開発省の2016年のレポートによると、15歳から24歳の多くの若者たちは、孤独を感じているという。ソーシャル・ネットワークは特に若者にネガティブな影響を与えている、実際に他人と合って会話することの大切さをNZ Samaritans はうたっている。
- ・最も暮らしやすい街はダニーデン
最近の調査でダニーデンの市民が最も暮らしに満足していることが分かった。
不動産価格の手頃感、市民の誇り、安全性などを主要7都市の住人7千人を対象に調査した結果、88%のダニーデン市民が暮らし全般について「非常に良い」「良い」と回答。
2年前の調査ではウェリントンが1位で今

年は2位。その理由はウェリントンの不動産価格の高騰のため。ストレス・安心感についても調査しており、クライストチャーチ在住の5人に1人は非常に高いストレスを抱えており、半数が夜間外出は危険と感じているようだ。

- ・ヘレン・クラーク氏次期事務総長候補7位
(9.28)

次期国連事務総長選の候補者9人中7番目であることが分かった。選挙は安全保障理事会の15ヶ国が非公開の投票で決まる。ポルトガルの元首相、アントニオ・グテレスが選ばれた。(10.6)

- ・世界で最も大気汚染による健康被害が少ない国
WHOの報告では、大気汚染と健康リスクに関してNZは世界各国と比較して最も低いことが分かった。

「NZ大好き」より

入会のお知らせ

8月にお二人の入会がありました。理事会にも報告、承認済みです。

- ・西原博子さん
松元さんのご紹介、以前からラム例会等にご参加されていました。
- ・伊藤美登利さん
山下明・中村・石井さんのご紹介、縁日例会が契機で入会されました。
- ・会員増強は、協会運営の基盤です。NZに興味ある方をご紹介ください。

ご寄稿のお願い

皆様からの原稿をお待ちしています。

ニュージーランドに関する情報・旅行記等をお気軽にお書き下さい。

締め切りは、2月末です。
